

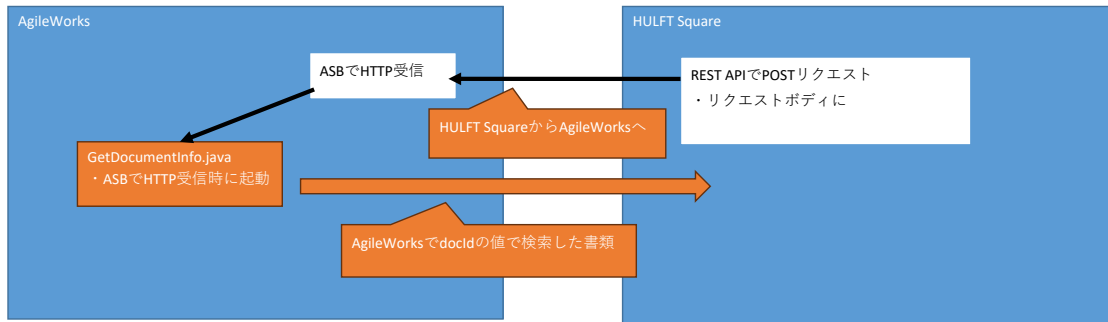
AgileWorks

HULFT Square連携用Bricklet仕様書

Brickletプログラム一覧・概要

Brickletプログラム

- GetDocumentInfo.java
 - HTTPリクエストを受けてAgileWorks内の書類を検索し、その書類に登録されている件名項目をレスポンスとして返すBrickletプログラム
 - リクエストボディでdocId(AgileWorks上での書類ID)を受信して書類を検索
 - 検索で引き当てた書類の件名項目1~20をレスポンスとしてJSON形式で送信



Bricklet「GetDocumentInfo」詳細設計

Bricklet処理概要

- HTTPリクエストを受けてAgileWorks内の書類を検索し、その書類に登録されている件名項目をレスポンスとして返すBrickletプログラム
- ・ リクエストボディでdocId(AgileWorks上での書類ID)を受信して書類を検索
 - ・ 検索で引き当てた書類の件名項目1～20をレスポンスとしてJSON形式で送信

変数

docId	<AgileWorksのdocId> ※HTTPのPOSTリクエストのボディから受信
-------	---

Bricklet処理詳細

AgileWorksのASBでのHTTP受信をトリガーに本プログラムを起動
 受信したHTTPリクエストのボディから「docId」の値を受け取り、AgileWorks内部の書類を検索
 検索された書類の件名項目の1行目～20行目をJSON形式でHTTPレスポンスとして返信

ログ仕様

ログメッセージ	ログメッセージ	ログ発生タイミング
Info	"Start Search docId:" <HTTPリクエストで受信したdocId>	AgileWorksを検索するdocIdの値を出力
Info	Search Succeed	docIdの値でAgileWorks内に書類が存在したときに出力
Error	Search Error	docIdの値でAgileWorks内に書類が存在しないときに出力
Error	<格納文字列をそのまま出力>	未知のエラーのときに出力

HTTPリクエスト/レスポンス仕様

本プログラムはAgileWorksのASBでHTTPエンドポイントとして機能する
 リクエストとレスポンスの形式は下記の通り

リクエスト仕様

リクエストURL	AgileWorksのASBで指定	
メソッド	POST	
ヘッダ	なし	
クエリパラメータ	なし	
リクエストボディサンプル	{ "docId": string }	
リクエストボディ項目詳細	docId	AgileWorks上の書類ID
文字コード	utf-8	

レスポンス仕様

MIMEタイプ	application/json	
レスポンスボディサンプル	{ "docListName9": "", "docListName13": "", "docListName12": "", "docListName11": "", "docListName10": "", "docListName17": "", "docListName16": "", "docListName15": "", "docListName14": "", "docListName1": "00000036", "docListName2": "2023-08-25", "docListName3": "XXYY契約", "docListName19": "", "docListName4": "xx", "docListName18": "", "docListName5": "yy", "docListName6": "", "docListName7": "", "docListName8": "", "docListName20": "" }	AgileWorksから検索した書類の件名項目を出力
文字コード	utf-8	